

保護者 様

菊川市立河城小学校長

今年度も残り一月となりました。昨年度同様コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながらの1年でしたが、ここまで大きな事故がなく教育活動を進められたのも、保護者の皆様の温かい御支援と御協力の賜と感謝しています。ありがとうございます。

さて、2学期末に保護者の皆様にも御協力いただいた学校評価の結果と、それをもとに学校評議員の皆様からいただいた御意見を報告いたします。皆様からいただいた貴重な意見を、次年度の教育活動に反映していきます。

学校アンケート(児童)

1	学校が楽しい。	92.9%
2	授業の内容が、よく分かる。	91.3%
3	学校行事や学年・学級の行事は楽しい。	98.8%
4	学級の友達といっしょに活動したり助け合ったりしている。	76.8%
5	「おはよう」や「こんにちは」や「さようなら」などのあいさつをきちんとする。	88.8%
6	学校に、信頼することのできる先生がいる。	93.3%
7	家で宿題や勉強を毎日忘れずにしている。	89.3%
8	ICT機器を使う 4:ほぼ毎日 3:週1回以上 2:月1回以上	91.3%

学校アンケート(保護者)

1	お子さんは、学校が楽しいと感じている。	91.8%
2	お子さんは、学校での授業の内容が分かっている。	85.3%
3	お子さんは、ICT機器(IPad やパソコン、TV等)を使うと、授業が分かりやすいと感じている。	82.9%
4	お子さんは、学校での行事(運動会・学年毎の行事)に対して進んで取り組んでいる。	94.9%
5	お子さんは、友だちと一緒に進んで活動したり助け合ったりしている。	92.1%
6	お子さんは、進んで読書をしている。	49.6%
7	お子さんは、「おはよう」や「さようなら」などのあいさつを自分から元気になっている。	81.5%
8	お子さんは、家の手伝いを自分からできている。	52.9%
9	お子さんは、人の話を最後まで聞いている。	74.1%
10	河城小には、信頼することのできる先生がいる。	90.9%
11	お子さんは自分や友だちのよさを見つけることができる。	92.9%
12	お子さんには、励ましてくれる仲間や友だちがいる。	85.9%
13	お子さんは自分から家庭学習に取り組んでいる。	72.2%
ア	学校は、ホームページやお便り等で活動の様子や状況を家庭や地域に伝えている。	97.9%
イ	学校は、家庭や地域と連携した教育活動を行っている。	94.3%
ウ	学校は、安全な環境づくりがなされている。	95.4%
エ	学校は、相談しやすい雰囲気になっている。	88.2%
オ	通信票「かがやく子」は、お子さんの姿が分かり、今後の目標作りになっている。	88.7%
カ	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	89.1%
キ	わが家では、家庭や地域で進んであいさつをしている。	95.9%
ク	わが家では、学校からの便りやメール・ホームページなどの情報に、しっかり目を通している。	89.2%

☆学校評議員様からいただいた意見や要望

○コロナによる学習面や精神面での不安があったが、2回の河小オリンピックを見学し、児童が制限のある中でもカー杯活動に取り組んでいる。また、活動の中で特別支援学級の子供たちも集団にとけ込んで活躍していることは大変意義がある。表現の部では、上の学年の子が下級生に踊りを教えるという伝統ができていることも意義がある。こうした活動を通して、先輩へのあこがれの気持ちや、責任感、やさしさが生まれることと思われる。教師も、活動の中で普段見つけられない子供たちの良さを見つけることができる。

☆菊川市の重点項目における河城小の成果と課題、次年度への展望

- ①学校が楽しい 学校の目標 96% 児童: 92.9% 保護者: 91.8%
- ②授業の内容がよく分かる 学校の目標 95% 児童: 91.3% 保護者: 85.3%
- ③学校に信頼することのできる先生がいる 学校の目標 95% 児童: 93.3% 保護者: 90.9%
- ④ ICT 機器を使うと授業が分かりやすい 学校の目標 90% 児童: 91.3% 保護者: 82.9%

学校で設定した目標に達しなかったものの、9割近い方が河城小学校の教育を肯定的に捉えています。しかし、「自分から」という観点で見ると、数値が下がっている項目が見られます。与えられた課題に対しては取り組めるが、よりよい自分に向かって積極的に動き出す力が必要だと考えています。

☆次年度へ向けた河城小学校提言

よりよい自分を見つけ、自分の良さを自分で認識し発揮できる子を育てるために、次年度の河城小学校では、以下の姿を実現できるよう教育活動を計画していきます。

- ① 自分の良さを自覚し、生活の中で良さを発揮している姿
- ② よりよい自分や集団を目指し、課題解決に向けて地道に粘り強く積極的に努力している姿
- ③ 周りの人の良さや思いを大事にし、あたたかな心で他者や集団のために動いている姿

児童が「表現力」や「実行力」「耐力」「感性や思いやり」の力を使って、何事にも挑戦する教育活動を展開します。例えば、宿題に関しては、与えられたものではなく、とことんやってみたいことを見つけて挑戦することや、取組の中で興味関心を広げ粘り強く学びに向かえるような取組。河小オリンピックでは、学級で課題を見つけ互いに考え合って、本番に臨むなど、「自分からかがやく」ことだけでなく、「人のためにかがやく」児童を育ていけるよう職員一同努めていきます。そして、最後には自分の良さを自信をもって言える子どもを育てていきます。

子どもの育成には、家庭や地域とも連携していくことで、より資質・能力が育まれます。次年度も、たくさんのお願いをしていますが、引き続き御協力をお願いします。

なお、次年度の教育計画については、3月中旬に学校のホームページに掲載しますので、御確認をお願いします。今年度も、皆様の御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

河城小学校 35-3330 担当：夏目
